※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3006

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「わたしたちの地理総合」　（二宮書店）「基本地図帳」（二宮書店）						
副教材等	授業プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

単なる用語の暗記ではなく、個々の地理的事象の諸課題を、考察できるように教科書やプリントやスライドを用いて授業をおこなう

・地理的事象に興味を持つ。

・地理的事象に「なぜそのようになったのか」等の疑問を抱き、自らの力で思考する。

・現代の諸問題を地理的事象と関連付けて考える。

以上のことを踏まえ、定期テスト、プリント、発表、態度などで評価を行う

2　学習の到達目標

・地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

・ 地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

・地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や 深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取り組みなどを理解できる。 ○地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。	○地理に係わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存関係、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。	○知識・技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた取り組みを行おうとしている。 ○日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚が深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	地図とGISの活用・生活文化の多様性と国際理解	・球面上の世界 ・国家の領域と領土問題 ・国内や国家間の結びつき ・日常生活のさまざまな地図 ・自然環境と生活文化 ・産業の発展と生活文化 ・言語・宗教と民族文化 ・グローバル化の進展と 生活文化	a：緯度や経度のしくみ、時差についての 理解をしている。 b：世界地図の様々な図法とその表現の特徴から、適切な利用について判断できる。 b： 国家が成り立つ条件を確認し、国境の定めかたや領土問題、日本の位置と日本の領土に関する問題について調べ、表現している。 a：世界の国々の結びつきを経済圏や観光の視点から捉え知識を確認し理解している。 b：時間距離の意味を理解し、交通、通信の発達による生活の変化について、地図を読み解き、貿易、物流による結びつきを表現している。 c：身近な地図が用途ごとに作成されていることを理解し、GIS の仕組みを理解し、デジタル地図を活用する技能を身につけることができるように粘り強く取り組もうとしている。 b：地形を作る力、山地、平野、海岸の地形について理解し、その地形を活かした人々の暮らしについて考え、表現している。 b：地球上の気候の成り立ちを理解し、様々な気候に対応した人々の生活について考え、表現している。 b：様々な写真から情報を読み取り、考え、まとめて表現している。 a：農業の地域性やそれに対応した人々の生活文化との関連性を理解している。 工業の発展と人々の生活の変化について理解している。 b:世界宗教について理解し、分布の特徴、社会や生活との関わりを考察し、表現している。 c:民族の定義を理解し、様々な文化への理解を深め、民族共生の必要性と大切さを考え、現代の諸課題について追究しようとしている。 c:EU、アメリカを例に、地域統合による生活文化の変化や、グローバル化に よる経済成長について理解し、その課題を追究しようとしている。	・授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ・定期考査	・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 ・定期考査	・学習活動への参加 ・振り返りｼｰﾄ ・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	地球的課題と国際協力・生活圏の諸課題	・人口食糧問題 ・居住・都市問題 ・資源・エネルギー問題 ・地球環境問題 ・自然環境と防災 ・持続可能な地域作り	a:人口増加地域の問題、人口停滞地域の問題について理解している。 b:人口問題と関連して食糧問題について理解し、その解決への取り組みを調べ、考察し、表現している。 c:有効な国際協力のあり方を考え、具体的な解決策を考えることに、粘り強く取り組もうとしている。 a:都市の人口増加の原因と引き起こされる課題について理解している。 b:世界の資源やエネルギーについて、その生産、消費の特徴と課題にいて理解し、これからのエネルギーのあり方について調べ、自分の考えをまとめ、表現している。 c:地球温暖化、熱帯林減少、砂漠化について、その要因を整理し、課題解決への取り組みを考え、粘り強く追究しようとしている。 b:複数の事象の因果関係を整理して表現し、問題構造を捉えやすくする方法を確認し、自分なりに表現している。 a:日本の自然環境の特徴を理解している。 a:様々な災害について整理し、その対策の重要性を理解している。 b:防災、減災について自分に関係することとして捉え、行動や取り組みについて考え、表現している。 a:地域調査の実施手順と方法について 理解している。 c:地域の課題を調べ様々な方法で調査し、結果を分析、考察し、追究しようとしている。	・授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ・定期考査	・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 ・定期考査	・学習活動への参加 ・振り返りｼｰﾄ ・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度